

とぎちのひめみこ
十市皇女の薨ぜし時に、
たけちのみこのみこと
高市皇子尊の作らす

歌三首

一五六番

みもろの 三輪みわの神杉かむすぎ
も 寝いねぬ夜よぞ多おほき
夢いめにだに 見みむとすれど

一五七番

三輪山みわやまの 山辺やまへまそ木綿ゆふ
に 長ながくと思おもひき
短木綿みじかゆふ かくのみゆる

一五八番

山吹やまぶきの 立たちよそひたる 山清水やましみづ
ど 道みちの知しらなく 汲くみに行ゆかめ